

第 16 回真鶴町地域公共交通会議 次第

日 時 平成 30 年 9 月 26 日 (水)
13:30～

会 場 真鶴町民センター第 2 会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 公共交通利用促進事業について…資料 1

(2) 新たなバス停の設置について…資料 2

(3) コミュニティバス利用者アンケート調査結果について…資料 3

(4) デマンド交通実証実験について…資料 4

(5) 今後のスケジュールについて…資料 5

3 その他

4 閉 会

真鶴町地域公共交通会議委員名簿

区分	団体・職名等	氏名
第1号 町民又は公共交通利用者の代表	真鶴町自治会連合会長	三木 邦身
第2号 学識経験者	東洋大学国際学部教授	岡村 敏之
第3号 国土交通省関東運輸局	神奈川運輸支局首席運輸企画専門官	藤田 幸也
第4号 県の関係行政機関	神奈川県都市部交通企画課長	星名 隆 (代理 福島 新平)
	神奈川県県西土木事務所小田原土木センター工務担当部長	野口 享洋
	神奈川県小田原警察署交通第一課長	高橋 一成
第5号 交通事業者	一般社団法人神奈川県バス協会常務理事	小堤 健司
	一般社団法人神奈川県タクシー協会	溝口 啓二郎
	有限会社真鶴タクシー営業所長	
	東日本旅客鉄道株式会社真鶴駅長	猪狩 吉央
	箱根登山バス株式会社運輸部課長	今野 武史
	伊豆箱根バス株式会社営業部次長	津田 豪
	株式会社湯河原タクシー取締役	古川 清一
第6号 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者	神奈川県交通運輸産業労働組合協議会委員	小泉 孝行
第7号 町長の指名する職員	真鶴町企画調整課長	小清水 一仁
	真鶴町産業観光課長	五十嵐 徹也
	真鶴町健康福祉課長	上甲 新太郎
	真鶴町教育課長	岩本 幹彦
第8号 前各号に掲げる者のほか町長が特に必要と認める者	真鶴町老人クラブ連合会長	中村 多美枝
	真鶴町社会福祉協議会長	青木 巖
	真鶴町観光協会長	青木 博和 (代理 有澤 敏勝)
	真鶴町商工会長	薮田 徹也
	まなづる小学校バス通学児童保護者の会会長	吉田 希
事務局	真鶴町まちづくり課長	菅野 文人
	真鶴町まちづくり課計画管理担当課長	神谷 要
	真鶴町まちづくり課副課長兼計画管理係長	尾森 正
	真鶴町まちづくり課主任主事	多田 英高

運転免許証自主返納支援事業

路線バス・真鶴町コミュニティバス

真鶴タクシー・湯河原タクシー

割引チケット 200 円×100 枚

(20,000 円分)

を助成します

対象者

平成 30 年 4 月 1 日以降に運転免許証返納を行った満 65 歳以上の町民

期間

平成 30 年 11 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

手続きの方法

- ① 小田原警察署または運転免許センターで運転免許証の自主返納の手続きが行えます。必要なものは、**運転免許証**と**印鑑**です。

※運転経歴証明書は手数料の 1,100 円、顔写真 1 枚(3×2.4)をご持参ください。

- ② 小田原警察署から交付された「申請による運転免許の取消通知書」または「運転経歴証明書(有料)」の写しのいずれかと**印鑑**をご持参の上、真鶴町役場まちづくり課までお越しください。

■お問い合わせ■真鶴町役場 まちづくり課 ☎0465-68-1131 内線 345

資料 2



凡例	
新設バス停	
既存バス停	

＜コミュニティバス・路線バス利用者実態調査＞の概要

1 調査概要

①調査日時

- 平成30年9月5日（水曜日）～9月11日（火曜日）まで1週間（平日5日・土日2日）

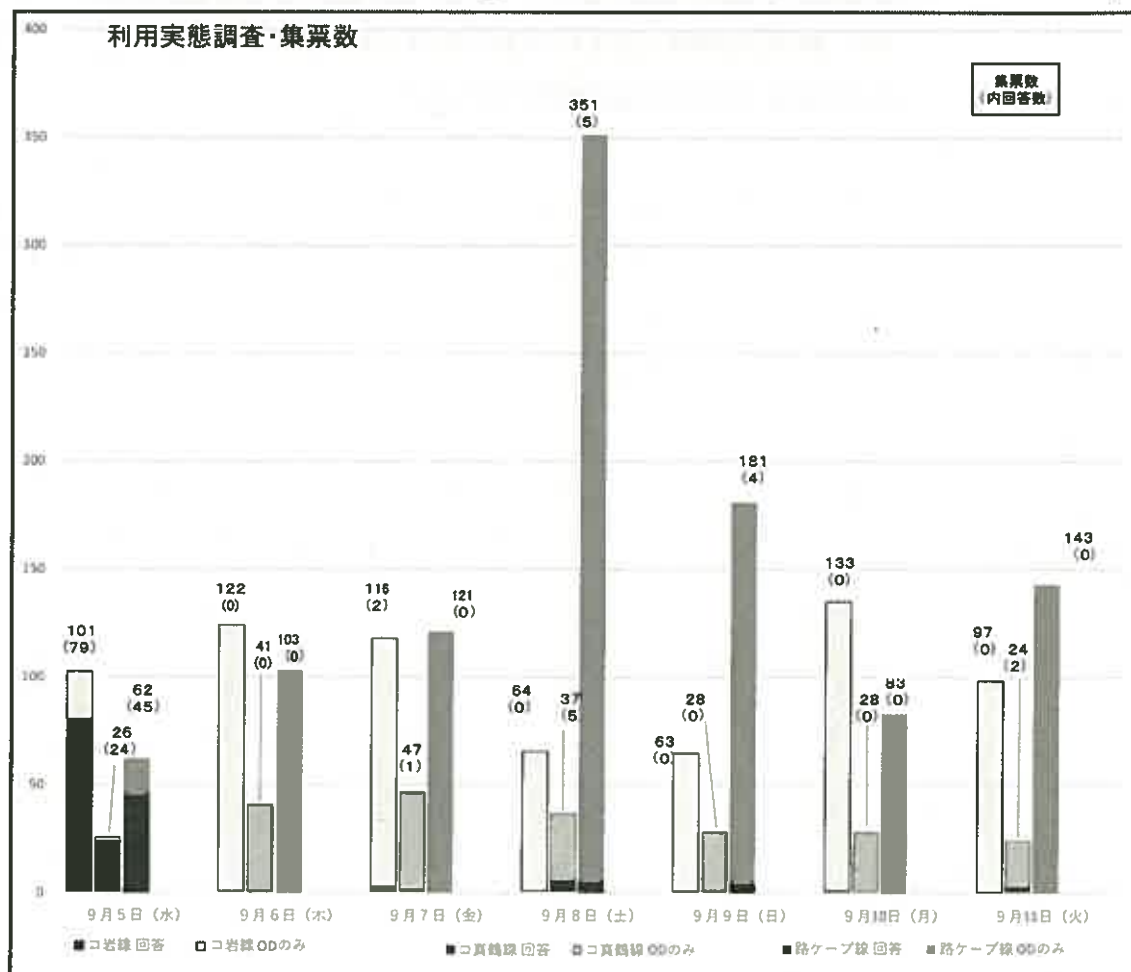
②調査方法

- 調査員がバスに乗り、乗車客に調査票を渡し、回答依頼。（乗車便・乗車バス停は予め記入）
- 降車バス停を回答いただき、初回のみアンケートへの回答を依頼。（調査票：次頁参照）7

③集票結果

- 「定時運行に支障あり」などの注意を受け、全数調査が困難であった。
- 土日は、OD*把握を優先し、調査員がODを全数調査し、アンケートは手渡し、後日回収で依頼。
- 延べ乗車人数は平均で、コミュニティバスは、岩線が平日114人程・土日64人程、真鶴線が平日・土日とも33人程。
- 路線バス・ケーブル真鶴線の平日の平均は、102人程度である。9月8日（土曜日）、ケーブル真鶴方面への団体客の乗車により、延べ351人の利用があった。（特異日であった。運転手談）
- 調査票への回答は、初回のみとしているため、初日の岩線79票が最も多く、次いで初日のケーブル真鶴線45票、真鶴線24票となっている。
- 観光利用者などから土日に、ケーブル真鶴線が9票、真鶴線が5票回収している。

※OD：起点（Origin）と終点（Destination）、一人一人の乗車バス停と降車バス停を把握する調査。



バス利用実態調査・集票数

日付	コミュニティバス岩線			コミュニティバス真鶴線			路線バスケーブ真鶴線		
	ODのみ	回答	計	ODのみ	回答	計	ODのみ	回答	計
9月5日(水)	22	79	101	2	24	26	17	45	62
9月6日(木)	122	0	122	41	0	41	103	0	103
9月7日(金)	114	2	116	46	1	47	121	0	121
9月8日(土)	64	0	64	32	5	37	346	5	351
9月9日(日)	63	0	63	28	0	28	177	4	181
9月10日(月)	133	0	133	28	0	28	83	0	83
9月11日(火)	97	0	97	22	2	24	143	0	143
合計	615	81	696	199	32	231	990	54	1,044
平日合計	488	81	569	139	27	166	467	45	512
平日平均	97.6	16.2	113.8	27.8	5.4	33.2	93.4	9.0	102.4
土日合計	127	0	127	60	5	65	523	9	532
土日平均	63.5	0.0	63.5	30.0	2.5	32.5	261.5	4.5	266.0

※調査票への回答は、初回のみとしているため、合計集票より、回答数は少ない。

また、第2日目以降は、リピーターが多く、ほとんど回答が無い。

※集計分析は、平日分と土日分の合計で行った。

<調査票・コミュニティバス岩線>

- ・実寸は A3 判サイズ
- ・クリップボードに留め、手渡し、降車時回収（3日目からは後日回収）とした。

ここから
回答
お願います。

A・便	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	13	14	17	20	21	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
	6:30	6:40	6:55	7:05	7:20	7:30	7:45	7:55	8:25	8:35	9:40	10:40	12:50	14:10	14:50	16:10	17:05	17:15	17:35	17:45	18:00	18:10	18:40	18:50	19:05	19:15

調査員が
事前に
チェック

乗車バス停

1 真鶴駅	2 真鶴駅前入口	3 石田駅前	4 西ノ入	5 橋ノ上	6 姥山入口	7 大環山配水池前	8 八丁坂	9 町住宅	10 岩	11 岩ふれあい館前	12 地区会館前	13 岩海岸	14 岩海岸	15 岩海岸	16 真鶴郵便局前	17 町民センター	18 小田原百貨店	19 消防署前	20 情報センター
-------	----------	--------	-------	-------	--------	-----------	-------	-------	------	------------	----------	--------	--------	--------	-----------	-----------	-----------	---------	-----------

降車バス停はどこですか？（1つに○）

1 真鶴駅	2 真鶴駅前入口	3 石田駅前	4 西ノ入	5 橋ノ上	6 姥山入口	7 大環山配水池前	8 八丁坂	9 町住宅	10 岩	11 岩ふれあい館前	12 地区会館前	13 岩海岸	14 岩海岸	15 岩海岸	16 真鶴郵便局前	17 町民センター	18 小田原百貨店	19 消防署前	20 情報センター
-------	----------	--------	-------	-------	--------	-----------	-------	-------	------	------------	----------	--------	--------	--------	-----------	-----------	-----------	---------	-----------

はじめての方のみご回答ください。
真鶴町コミュニティバス利用者アンケート調査票
 真鶴町コミュニティバスをご利用いただきありがとうございます。コミュニティバスの利用実態や利用意向を把握するため、アンケート調査を実施しています。

真鶴町まちづくり課 計画管理係（電話 0485-88-1131）

問1. あなたご自身についてお聞きします。（それぞれ1つに○印）

性 別	① 男性	② 女性	年 齢	① 10歳代	② 20歳代	③ 30歳代	④ 40歳代
				⑤ 50歳代	⑥ 60歳代	⑦ 70歳代	⑧ 80歳以上
職 業	① 会社員・公務員 ② 自営業 ③ 学生 ④ 専業主婦（夫） ⑤ パート・アルバイト ⑥ 無職 ⑦ その他（ ）						
住 ま い	1 町内（①東地区 ②西地区 ③丸山地区 ④城口地区 ⑤城北地区 ⑥みさき地区 ⑦土肥道地区 ⑧岩中央地区 ⑨山ゆり地区）						バス停 までの 所要時間 （ ）分程度
	2 町外（市町村名： ）						

問2. 本日の真鶴町コミュニティバスの主な利用目的は何ですか？（2つまでに○印）

① 通勤	② 通学	③ 買物	④ 通院	⑤ 公共施設利用	⑥ 習い事
⑦ 遊び・趣味等	⑧ 金融機関利用	⑨ 観光	⑩ その他（ ）		

問3. 利用頻度はどのくらいですか？（1つに○）

① ほぼ毎日	② 週に2・3回	③ 月に3・4回	④ 月に1回程度	⑤ その他（ ）
--------	----------	----------	----------	----------

問4. 真鶴町コミュニティバスの運行サービスについて、あなたのお考えに最もあてはまる番号それぞれ1つに○印をつけて下さい。①～⑥すべてにお答え下さい。

運行サービス	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
① 運行ルート（行き先等）	1	2	3	4	5
② 運行便数	1	2	3	4	5
③ 運行時間帯	1	2	3	4	5
④ 運賃（200円）	1	2	3	4	5
⑤ 時刻表・路線図等の運行情報案内	1	2	3	4	5
⑥ 全般のサービス	1	2	3	4	5

問5. 真鶴町コミュニティバスの利用をより一層高めるためには、どのようなサービスを改善することが必要と思いますか？（3つまでに○印）

- ① 運行ルートの変更・見直し 希望する経由地（ ）
- ② ダイヤ・運行時間帯の変更 希望するダイヤ（ ）
- ③ バス停留所の増加（新設） 具体的な場所（ ）
- ④ 鉄道やバス、バス同士との乗り継ぎ時間の短縮や運賃割引の導入
- ⑤ バス停留所の待合環境（ベンチ、上屋）の整備
- ⑥ 運行情報案内等の広報活動
- ⑦ 観光施設や商店会等と連携した公共交通割引チケット等の発行
- ⑧ 公共交通の意識向上を育むよう、地域懇談会やシンポジウム等の開催
- ⑨ 幼稚園・保育園や小中学生等を対象としたバスの乗り方教室等の開催
- ⑩ その他（ ）

真鶴町コミュニティバスに関するご意見・ご要望がありましたら記入をお願いします。

ご協力ありがとうございました。ご回答頂いた調査票は降車時に調査員に手渡すか、バス車内の回収箱に入れて下さい（9月14日（金）まで）

2 集計結果

(1) コミュニティバス岩線

①OD 結果

【平日 OD】(総数：569・不詳10含む)

- ・最も多かったのは「岩乗車→真鶴駅降車」で55、次いで「真鶴駅乗車→岩降車」で45。
- ・午前中の通勤利用で「岩方面から真鶴駅まで」の利用が多い。
- ・乗車バス停では、「真鶴駅」184、「岩」99と起終点バス停からの利用が多く、「小田原百貨店」46、「岩地区集会所前」43などとなっている。
- ・降車バス停では、「真鶴駅」250、「岩」63の利用が多く、「消防分署前・町営住宅」32、「朝倉病院前」28などとなっている。

コミュニティバス岩線OD・平日 合計

乗車人数		569	乗車																			
	バス停		1真鶴駅	2岩方面集会所前	3岩地区集会所前	4岩ノ上	5岩ノ上	6朝倉山入口	7大田山	8大田山	9町営住宅	10岩	11真鶴駅	12岩地区集会所前	13岩ノ上	14真鶴駅	15岩	16真鶴駅	17町営住宅	18小田原百貨店	19消防分署前	20朝倉病院前
			184	1	3	3	24	2	1	3	19	99	39	43	32	35	9	1	9	46	12	4
降車	1真鶴駅	250	2		3	2	17	1	1	3	11	55	33	36	29	31	8		2	12	3	1
	2岩方面集会所前	10	1										1					1	3	4		
	3岩地区集会所前	7	5																	2		
	4岩ノ上	2	1																	1		
	5岩ノ上	16	10				1									1				2		2
	6朝倉山入口	2	2																			
	7大田山	1	1																			
	8大田山	2	0																2			
	9町営住宅	32	16																	12	3	1
	10岩	63	45									1					1		1	9	6	
	11真鶴駅	21	19										2									
	12岩地区集会所前	24	22											1						1		
	13岩ノ上	27	24												2				1			
	14真鶴駅	28	24								1			1		1				1		
	15岩	7	5									1		1								
	16真鶴駅																					
	17町営住宅	15	2				1				1	8	2	1								
	18小田原百貨店	26	3	1		1	2	1			5	8	1	2		2						
	19消防分署前	32	2				1				1	26		1	1							
	20朝倉病院前	4					2													2		

に数値があるものは、OD不詳(10)。

- ・午前中は、真鶴駅までの通勤利用が多い。
- ・「岩」往復便の利用により、岩までのバス停利用が多く、「小田原百貨店」への買い物バスとしての利用が多い。(アンケート結果 P7 も参照)

【土日 0D】（総数：127）

- ・最も多かったのは「岩乗車→真鶴駅降車」で11、次いで「町営住宅乗車→真鶴駅降車」で10。
- ・乗車バス停では、「真鶴駅」36、「町営住宅」17の利用が多く、「小田原百貨店」16、「岩」15などとなっている。
- ・降車バス停では、「真鶴駅」57、「小田原百貨店」17の利用が多く、「町営住宅」12、「岩」10などとなっている。

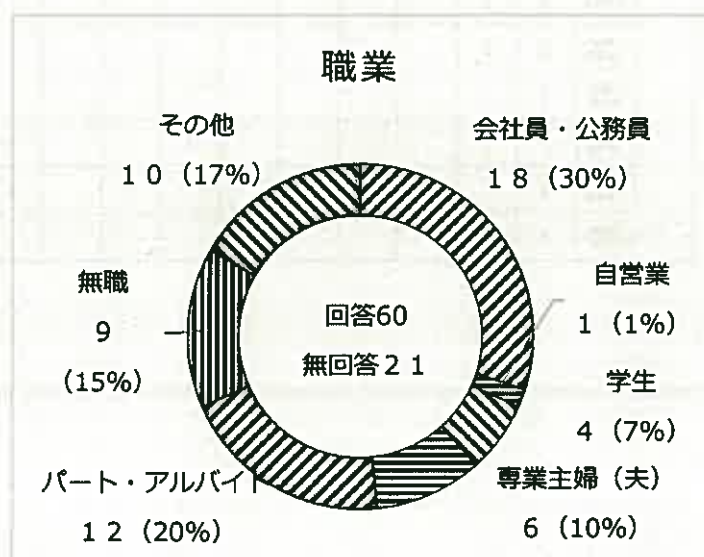
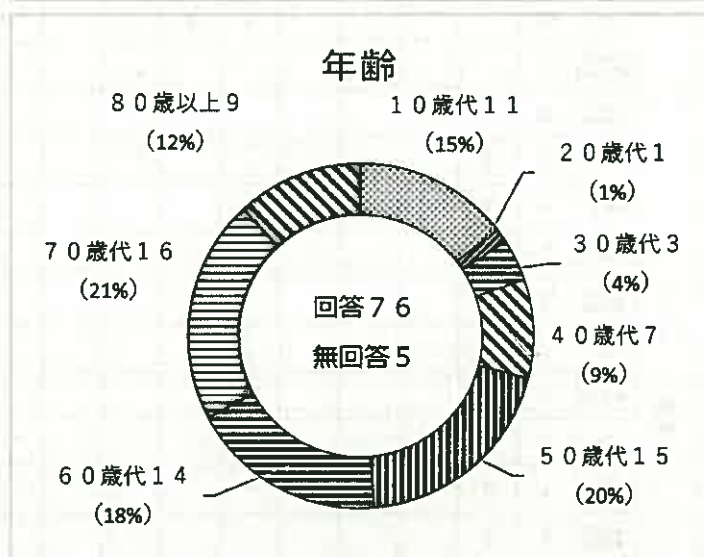
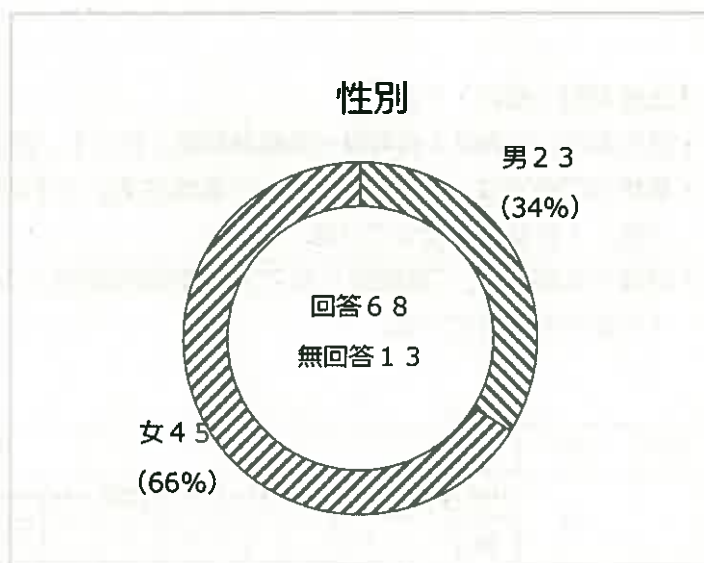
コミュニティバス岩線0D・土日 合計

乗車人数	127		乗車																	
	バス停		1真鶴駅	2体育館駐車場入口	3石橋保育園前	4西ノ入	5橋ノ上	6鶴山入口	7大塚山配水池前	8石名坂	9町営住宅	10岩	11岩ふれあい館前	12岩地区集会所前	13岩南	14岩金地区前	17町長センター	18小田原百貨店	19消防分署前	20情報センター
			36		1		4	4	1		17	15	5	8	9	8	1	16	1	1
降車	1真鶴駅	57			1		4	2	1		10	11	3	5	7	7	1	5		
	2体育館駐車場入口	1																1		
	3石橋保育園前	2	2																	
	4西ノ入	3	3																	
	5橋ノ上	4	4																	
	6鶴山入口	2	1															1		
	7大塚山配水池前	2	1															1		
	8石名坂																			
	9町営住宅	12	4															7	1	
	10岩	10	7													1		1		1
	11岩ふれあい館前	1	1																	
	12岩地区集会所前	3	3																	
	13岩南	5	5																	
	14岩金地区前	2	2																	
	17町長センター	1						1												
	18小田原百貨店	17	2					1			6	4	1	3						
	19消防分署前	3									1				2					
	20情報センター	2	1										1							

③利用者意向（アンケート集計結果：平日81人）

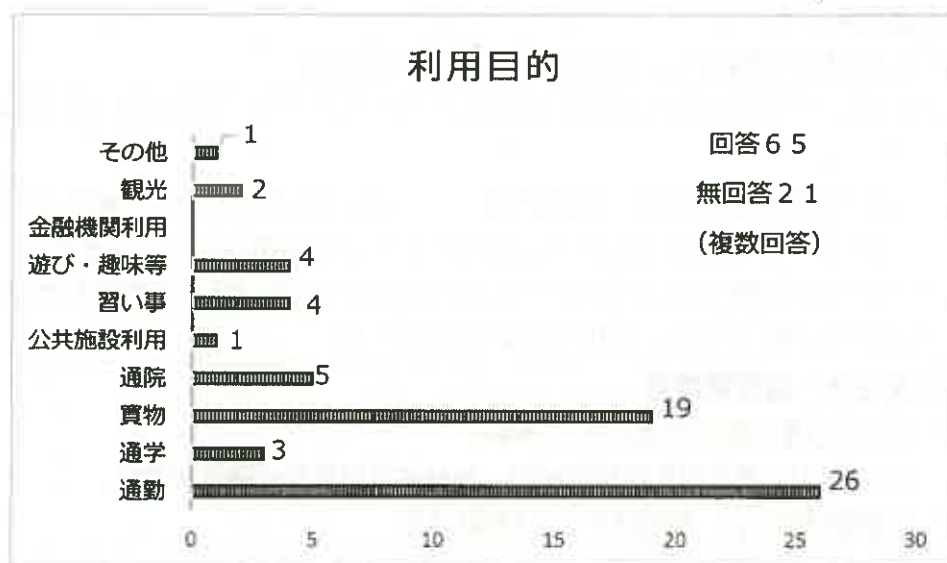
・利用者属性

- ・男23（約34%）、女45（約66%）、70歳代（約21%）、50歳代（約20%）、60歳代（約18%）。
- ・会社員・公務員18（約30%）、パート・アルバイト12（約20%）。

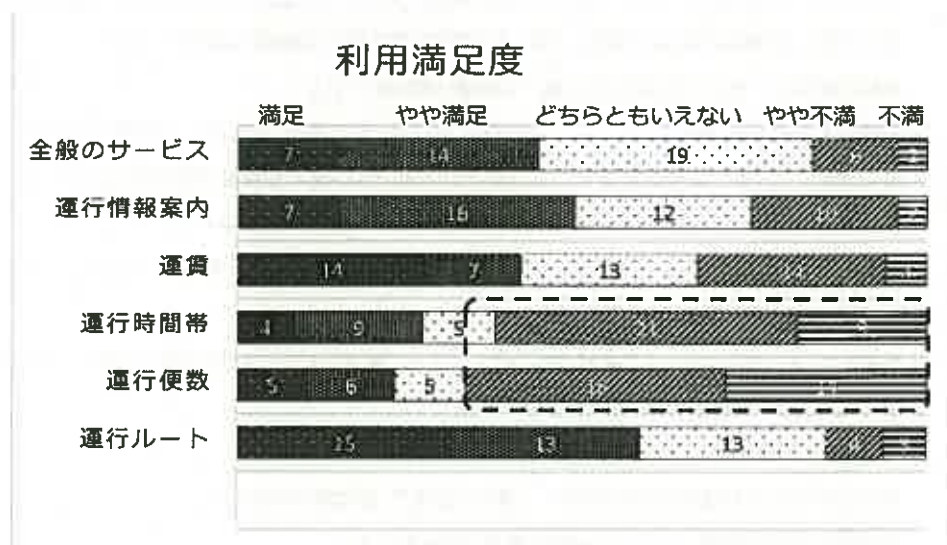


- ・利用目的は、「通勤」26（約40%）が最も多く、次いで「買物」19（約29%）。

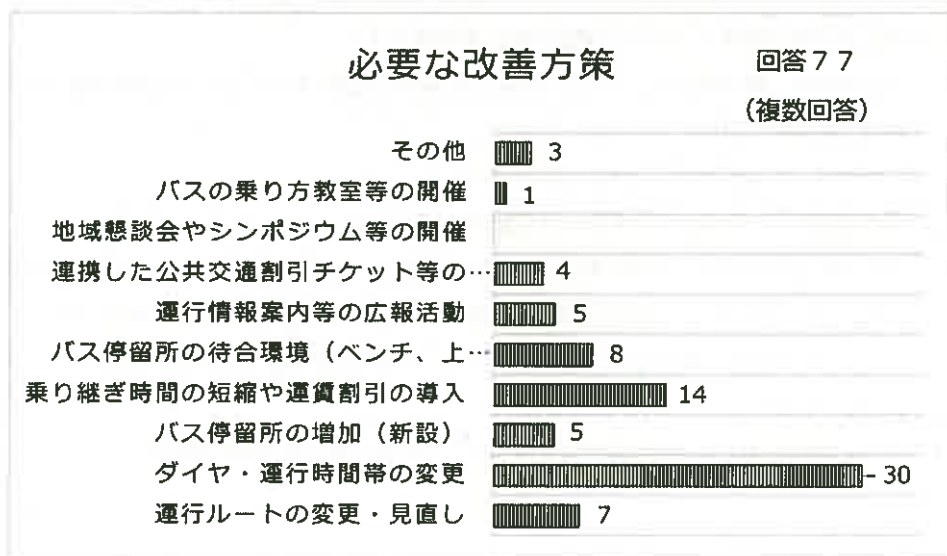
- ・利用頻度は、「ほぼ毎日」23（約40%）、「週に2・3回」16（約28%）。



- ・運行サービスに対する満足度は、全般では満足度が高いが、「運行便数」「運行時間帯」は、満足度が低い。



- ・必要な改善策では、「ダイヤ・運行時間帯」30（約39%）の指摘で、記述も多い。



問5改善に関する記載

①運行ルート

- ・片側まわりではなく、利用しやすいルートを望む。

・半島エリア（男/50歳代/会社員・公務員/未・未）+②：19：00頃まで（男/50歳代/会社員・公務員/未・未）

・岩線（女/50歳代/会社員・公務員/熱海/---）+②：夜に欲しい（女/50歳代/会社員・公務員/熱海/---）

・山まわり-町まわり（女/60歳代/未/岩中央・3）+自由記入欄：たとえば、小田百から石名坂に帰るのに来たバスは山まわり。駅まで行ってまたのりかえる400円かかります。（女/60歳代/未/岩中央・3）+⑦：「公共交通割引チケット等」に○囲い（女/60歳代/未/岩中央・3）

②ダイヤ・運行時間帯

- ・夕方から夜の運行がほしい。（多数）
- ・JRダイヤにあわせた運行を望む。休日も平日並みの運行を望む。
- ・定期券がほしい。割引チケットがほしい。

・夜19：30以降を1本。（男/40歳代/会社員・公務員/山ゆり・25）+自由記入欄：日中の町営住宅までバスが上ってくれるのはうれしい。運行本数の増加、運行時間の延長が希望。（男/40歳代/会社員・公務員/山ゆり・25）+⑩：定期券があると便利。（男/40歳代/会社員・公務員/山ゆり・25）

・本数が少ない（男/40歳代/会社員・公務員/岩中央・5）

・午後6・7時代の増便。JRに合わせたダイヤ（男/50歳代/会社員・公務員/岩中央・3）

・夜8時くらいまで運行してほしい。（男/50歳代/会社員・公務員/岩中央・3）+③：岩地区は以前の伊豆箱根バスの停留所に戻してほしい。（男/50歳代/会社員・公務員/岩中央・3）

・19:00~20:00代に1つ欲しい。（男/50歳代/会社員・公務員/岩中央・20）+⑨末尾：交通安全含む。（男/50歳代/会社員・公務員/岩中央・20）

・最終もう少し遅く（男/60歳代/会社員・公務員/岩中央・未）+③：昔の（岩小）学校上と学校前に戻す（男/60歳代/会社員・公務員/岩中央・未）

・12時代がない（男/60歳代/無職/岩中央・2）

・せめて平日も土日並みのダイヤで…（男/70歳代/自営業/岩中央・1）

・7時代のバスの時間。（女/10歳代/学生/岩中央・1）

・電車の時間に合わせてほしい。（女/10歳代/学生/山ゆり・5）

・夜ともう少し朝早く（女/10歳代/学生/岩中央・1）

・朝は7時代、夜7時以降。（女/30歳代/会社員・公務員/未・1）+⑩：定期券をつくるべきと思います。（女/30歳代/会社員・公務員/未・1）

・山まわり（女/30歳代/介護職/湯河原/---）

・朝の増便（女/40歳代/会社員・公務員/未・5）

・駅に向かう11時代12時代希望（女/40歳代/パート・バイト/岩中央・1）+自由記入欄：路線バスの時12時代のバスで通勤していたのにその時間帯が無くなり一本前の11時代も無くなった。この暑さの中、歩いて行くか、10時代の逆回りに乗るしかなく大変困った。時間があきすぎです。定期も導入してほしい。（女/40歳代/パート・バイト/岩中央・1）

・休日の運行時間をもう少し長くしてほしい。（女/50歳代/会社員・公務員/未・1）

- ・JRの時刻に合わせてほしい。(女/50歳代/パート・バイト/岩中央・20)
- ・8:35~9:55の間にもう1本ほしいです(女/50歳代/無職/山ゆり・未)
- ・午後6時を6:05ぐらいにしてほしい。(女/60歳代/会社員・公務員/未・未)
- ・日中の時間3時間0運転となってる。(女/70歳代/無職/岩中央・0)+自由記入欄:せめて少なくとも1時間に1本は運転してほしい。(女/70歳代/無職/岩中央・0)
- ・希望の所で手をあげてのる。(女/80歳以上/未/山ゆり・未)+自由記入欄:バス停まで歩くのが大変。(女/80歳以上/未/山ゆり・未)

⑤待合環境

- ・ベンチに○囲い(女/70歳代/無職/山ゆり・未)

⑩その他

- ・8時内が1本ほしい。(男/80歳以上/無職/丸山・未)

自由記入欄(ここのみに記載)

- ・有りがたく思います。(女/70歳代/無職/山ゆり・未)
- ・利用者の声を聞いた結果、いつ何が反映されているか。判らない。利用者を含めた広報(改善)を活発にして欲しい。(男/60歳代/パート・バイト/岩中央・5)
- ・バスの便数が少ない(男/60歳代/パート・バイト/岩中央・未)
- ・山まわりで、平日も8:25頃のを●して欲しい。運行時間をもう少し増やして欲しい。(女/30歳代/介護職/湯河原/-/-)
- ・急ブレーキがこわいです。(女/40歳代/パート・バイト/岩中央・未)
- ・希望しても何も変わらない。利用者の立場を考えていない。通勤に利用しているのに定期が出ない。毎日200円。(女/60歳代/会社員・公務員/山ゆり・10)
- ・運行便数が少ない。(女/70歳代/未/岩中央・3)
- ・50分に1本動かして下さい。(女/80歳以上/無職/岩中央・10)
- ・もっと台数をふやしてほしい。(女/80歳以上/無職/未・未)

※末尾属性(性別/年齢/職業/居住地区・バス停までの徒歩所要時間)…未は未回答

(2) コミュニティバス真鶴線

①OD 結果

【平日 OD】(総数：166・不詳4含む)

- ・最も多かったのは「真鶴駅乗車→中川美術館降車」で27、次いで「小田原百貨店乗車→真鶴駅降車」で20。
- ・乗車バス停では、「真鶴駅」65、「小田原百貨店」29の利用が多く、「尻掛入口」20、「大浜口」14などとなっている。
- ・降車バス停では、「真鶴駅」59、「中川美術館」28の利用が多く、「尻掛入口」18などとなっている。

コミュニティバス真鶴線OD・平日 合計

乗車人数		166	乗車												
	バス停		1真鶴駅	2真鶴郵便局前	3役場	4町民センター	5小田原百貨店	6消防分署前	7情報センター	8歌謡堂前	9尻掛入口	10ひなづる幼稚園	11お花畑	12大浜口	13中川美術館
			65		4	5	29	3	6		20	11	7	14	2
降車	1真鶴駅	59			2	1	20				16	3	6	10	1
	2真鶴郵便局前	2										2			
	3役場	3										2			1
	4町民センター	7	2									3	1	1	
	5小田原百貨店	11	8				1					1		1	
	6消防分署前	0													
	7情報センター	2									1			1	
	8歌謡堂前	0													
	9尻掛入口	18	7		1	1		1	6		2				
	10ひなづる幼稚園	12	10				2								
	11お花畑	9	4			2	3								
	12大浜口	15	7		1	1	3	2						1	
	13中川美術館	28	27								1				

に数値があるものは、OD不詳(4)。

【土日 OD】（総数：65）

- ・最も多かったのは「真鶴駅乗車→中川美術館降車」で9、次いで「大浜口乗車→真鶴駅降車」で8。
- ・乗車バス停では、「真鶴駅」22、「大浜口」12の利用が多い。
- ・降車バス停では、「真鶴駅」27、「尻掛入口」10の利用が多い。

コミュニティバス真鶴線OD・土日 合計

乗車人数		65	乗車												
	バス停		1真鶴駅	2真鶴郵便局前	3役場	4町民センター	5小田原百貨店	6消防分署前	7情報センター	8駅通堂前	9尻掛入口	10ひなづる幼稚園	11お花畑	12大浜口	13中川美術館
			22			1	5	4	2	1	7	4	5	12	2
降車	1真鶴駅	27					1	2		1	6	3	5	8	1
	2真鶴郵便局前														
	3役場	3												3	
	4町民センター														
	5小田原百貨店	6	3								1	1		1	
	6消防分署前														
	7情報センター														
	8駅通堂前														
	9尻掛入口	10	7					1	1						1
	10ひなづる幼稚園	3					2		1						
	11お花畑	3	1			1	1								
	12大浜口	4	2				1	1							
	13中川美術館	9	9												

- ・「中川美術館」行の観光客用バスとしての利用が多い。

※真鶴線アンケート集計中。

(3) 路線バスケーブ真鶴線

①OD 結果

【平日 OD】(総数：512・不詳22含む)

- ・最も多かったのは「ケーブ真鶴乗車→真鶴駅降車」で63、次いで「真鶴駅乗車→ケーブ真鶴降車」で59。
- ・乗車バス停では、「真鶴駅」137、「ケーブ真鶴」109の利用が多い。
- ・降車バス停では、「真鶴駅」251、「ケーブ真鶴」95の利用が多い。

路線バスケーブ真鶴線OD・平日 合計

乗車人数		512		乗車												
バス停		1真鶴駅	2大道商店街	3消防分署前	4小学校下	5東宿中	6西の浜	7魚市場	8宮前	9山下浜	10星地	11崎入口	12中川美術館	13崎入口	14ケーブ真鶴	
		137		9	21	38	31	51	39	8	50		19		109	
降車	1真鶴駅	251	3		4	18	30	25	35	21	7	28		17		63
	2大道商店街	6				1	2	2								1
	3消防分署前	18			1	1	2	2	4	1	1					6
	4小学校下	7	6		1											
	5東宿中	12	9			2					1					
	6西の浜	19	7								9					3
	7魚市場	33	6		3			3			3					18
	8宮前	17	11		2						2					2
	9山下浜	1	1													
	10星地	28	19			4	1									4
	11崎入口	3						3								
	12中川美術館	22	16		1				1		1		2			1
	13崎入口															
	14ケーブ真鶴	95	59					1	6	13		5				11

に数値があるものは、OD不詳(22)。

【土日OD】(総数: 532)

- 最も多かったのは「ケーブル真鶴乗車→真鶴駅降車」で67、次いで「真鶴駅乗車→ケーブル真鶴降車」で58。
- 乗車バス停では、「真鶴駅」157、「ケーブル真鶴」123の利用が多い。
- 降車バス停では、「真鶴駅」247、「ケーブル真鶴」100の利用が多い。
- 「ケーブル真鶴」(乗降)や「魚市場」(乗降)の観光利用者が多く、海岸付近での乗車→真鶴駅降車の町民利用もある。

路線バスケーブル真鶴線OD・土日 合計

乗車人数		532	乗車(ケーブル真鶴→真鶴駅)													
	バス停		1真鶴駅	2大通商店街	3消防分署前	4小学校下	5東宿中	6西の浜	7魚市場	8宮前	9山下浜	10里地	11碑入口	12中川美術館	13碑入口	14ケーブル真鶴
			157	2	3	3	28	22	79	21	3	56		35		123
降車	1真鶴駅	247			1	3	21	20	36	16	2	47		34		67
	2大通商店街	4										4				
	3消防分署前	10	2					1		1	1	1		1		3
	4小学校下	4	3						1							
	5東宿中	3	2	1												
	6西の浜	6	2	1			1					1				1
	7魚市場	50	40		1							3				6
	8宮前	40	4													36
	9山下浜	4	4													0
	10里地	47	31				5	1								10
	11碑入口	1	1													
	12中川美術館	16	10		1				3	2						
	13碑入口	0														
	14ケーブル真鶴	100	58				1		39	2						

※ケーブル真鶴線アンケート集計中、記載意見のみ次頁に集計速報。

問5改善に関する記載

⑩その他

- ・ ケープ真鶴線の観光利用の利便性向上。

・ 1日フリー券+自由記入欄：ケープ真鶴に観光にきたが、刺身定食など無く、途中の魚市場にはあるとのことでした。途中下車可もしくは1日フリー券にしてもらえると観光客は便利です。(男/40歳代/会社員・公務員/川崎市)

自由記入欄

- ・ 観光バスとしてのサービス向上。

・ ゆがわらエリアバスフリーパスがほしい(女/40歳代/無職/川崎)

・ バス停の待合所の座席がびしょぬれでした。ケープ真鶴(未/未/未/未)

・ 運転手さんの接客マナーについてもう少し丁寧さが必要だと思います。少々きつく感じました。(男/30歳代/会社員・公務員/東京都)

・ わたしの住まいはココではないので、こちらのバスを利用することはありませんが、普段の生活で毎日バスを使っていて、今日のバスは乗り易かったですが、運転がらんぼうで、50歳代のわたしでも立っているのがしんどいことがあるので、どこの会社(バス)でも運転講習技術高上には力をいれてほしい。(女/50歳代/パート・バイト/横浜市)

・ アンケート目的がよく理解できてないので、また乗車したのもはじめてなので、回答が正しいかわからない。何に利用するアンケートなのかを明記して欲しい。(男/50歳代/会社員・公務員/座間)

そこで、町民の生活利便性向上のために、公共交通空白地帯などの解消に取り組むべく、新たな公共交通手段を創出しようとするものです。

実際の利用にあたっては、利用者が利用当日、運行委託事業者（タクシー事業者）に予約の連絡し、セダン型タクシー（予約の状況により1つのゾーンあたり1～2台で運用）により利用者の近くまで立ち寄りながら巡回するような「ややドアtoドアに近い形」を想定しています。

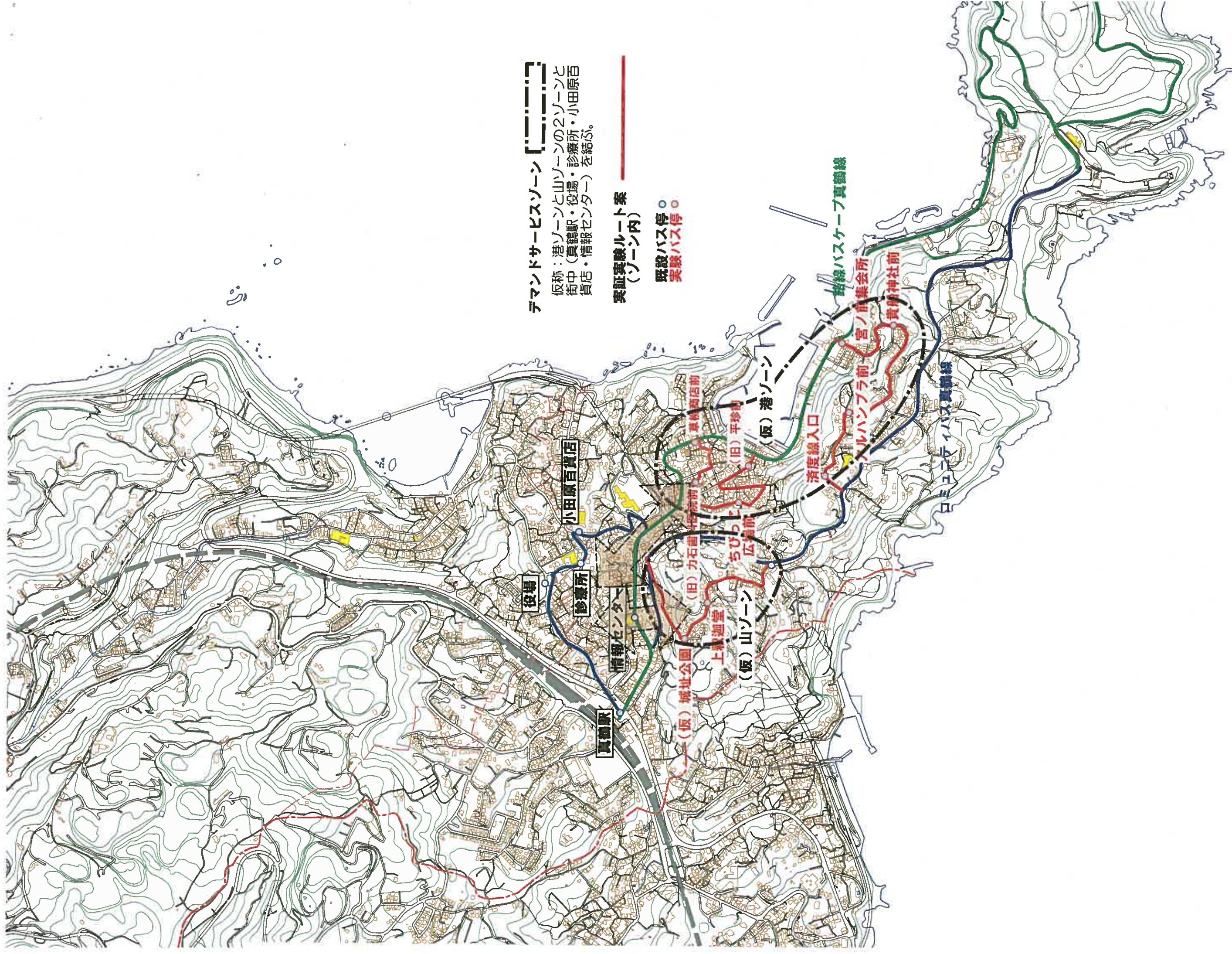
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実証実験				← 停留所等準備 →		← 運行 →	
手続き			4条申請	← 許可 →			
実証実験計画	← 運行計画 →						
地域公共交通会議	★ 実証実験概要		★ 運行決定				
利用者周知			← →				
住民説明会					★		

1

仮称：港ゾーンと山ゾーンの2ゾーンと
街中（真鶴駅・役場・診療所・小田原百
貨店・情報センター）を結ぶ。

実証実験レポート案
(サイン内)

既設バス停



地域公共交通関連事業スケジュール [平成30年度9月以降]

資料5

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高齢者(運転免許返納者)割引			→				→
実証実験				→	各種調整	→ 運行	→
手続き			4条申請	→	許可		
実証実験計画	→	→ 運行計画					
地域公共交通会議	★ 実証実験概要		★ 運行決定				★ 次年度以降について
利用者周知			→		→		
住民説明会					★		
ワークショップ						★	

実証実験のPRを兼ねて実施
(併せて、「利用した感想」や
「改善提案」の聴取 等)